YAMAZEN

Qriom キュリオム
Quantum Leap for Curiosity

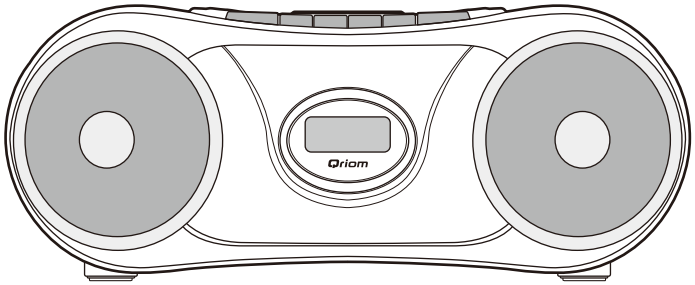
取扱説明書

SD/USB/CDラジカセ

# CBX-SU36

**ご使用になる前に**
この取扱説明書（保証書付）を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。

**保証書付**




この度は、本製品をお買上げ頂き誠にありがとうございました。
この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。
お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じた時にお役立てください。

| 日本国内専用 FOR USE IN JAPAN ONLY |
| --- |
| 本製品は家庭用として作られており、業務用には使用できません。 |


**商品に関するお問い合わせ**

**エンプレイスサポートセンター**

ナビダイヤル 0570-038-415

**受付時間**

**月～金　午前10時～午後5時まで**
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせは
**E-mail ： support@qriom.com**

ホームページ：キュリオム 検索


## 目　次


■安全にご使用いただく為に …… 2～7
■各部の名称 …… 8・9
■本体付属品リスト …… 10
■電源について …… 10
■時計の設定 …… 11
■CDを聴く …… 12～14
■SDカードを使う …… 15～18
■USBメモリーを使う …… 19～22
■カセットを使う …… 23・24
■ラジオを聴く …… 25
■ヘッドホンの使用 …… 26
■X-BASSについて …… 26
■お手入れ方法 …… 27
■製品仕様 …… 28
■故障かな?と思ったら …… 28
■保証とアフターサービス …… 29
■FAQ …… 30
■MEMO …… 31
■保証書 …… 裏面

# 安全にご使用いただく為に

商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 表示の説明

**⚠警告** 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

**⚠注意** 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1: 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明

禁止 ⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示 ● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意 △ は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## ⚠警告

ACプラグを抜く

### 発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ACプラグを抜く

### 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

確実に差し込む

### 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。

ぬれ手禁止

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

分解禁止

### 分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

禁止

### 雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない
### 野外で使用していて、雷が鳴り出したら、アンテナをたたんで安全な場所に避難する

感電の原因となります。



## ⚠警告

ACプラグを抜く

### 落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

つぎのことを守る

### 電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

- 傷つけない
- 延長するなど加工しない
- 加熱しない・引っ張らない
- 重い物を載せない・はさんだりしない
- 無理に曲げない・ねじらない
- 束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。

入れない

### 機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

### 雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ACプラグを抜く

### 内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

ほこりをとる

### 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

禁止

### 次のような場所には置かない

- 風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- 雨、きりなどが直接入り込むような場所
- 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- 直射日光の当たる場所
- 炎天下の車内
- ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
- 振動の強い場所
- 腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
- 極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
- 電磁波を発生さえ得る機器（携帯電話、スマートフォン、テレビ、モニター等）の周辺

火災・感電、ノイズや混信の原因となります。

# 安全にご使用いただく為に (つづき)

## ⚠注意

禁 止

### ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

禁 止

### 円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

禁 止

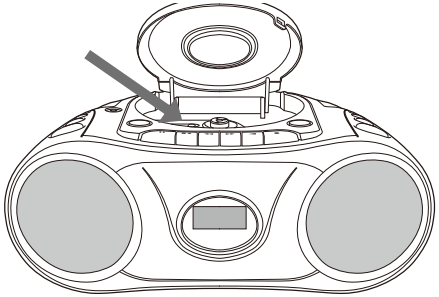
### 機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

禁 止

### ディスクのピックアップレンズをのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



禁 止

### ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触れるとけがの原因になります。

つぎのことを守る

### 音量に注意

・始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
・電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴覚障害などの原因となることがあります。

つぎのことを守る

### CDレンズが結露した場合、再生の妨げになる場合がある

寒い所から本機を移動させた場合、CDレンズが結露する場合があります。しばらく時間をおいて、CDレンズが乾いてからご使用ください。



## ⚠注意

ACプラグを抜く

### 長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

ACプラグを抜く

### 持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

禁 止

### 通風孔をふさがない

**・壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）**
**・押入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない**
**・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない**
**・じゅうたんや布団の上に置かない**
**・あお向け・横倒し・逆さまにしない**

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。

ACプラグを抜く

### 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

つぎのことを守る

### 乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

**・指定以外の電池は使用しない**
**・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
**・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
**・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない**
**・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない**
**・本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない**
**・水にぬらしたり、ぬれた手を触れない**
**・乾電池は幼児の手の届くところへ置かない**

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

### 免責事項について

- ●地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ●この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- ●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

# 安全にご使用いただく為に (つづき)

## ⚠ CDの取り扱いについて

●CDを持つときは、プレイ面に触れないように注意してください。

●CDはケースに入れて保管してください。ラベルが印刷されている面を上にし、ラベル面を軽く押してケースに収納してください。

●CDは暖房機器の近くや夏の車内など、温度が高い場所またはほこりっぽい場所には置かないでください。

●ボールペンでラベル面に文字を書かないでください。またCDにラベルを貼らないでください。

●CDのプレイ面に付着した汚れや指紋は、再生不具合や音飛びの原因になります。柔らかい布を使いCDの内側から外側に向かって拭き取ってください。

●CD再生中に、CDドアを直接あけないでください。CDの回転がすぐには止まらずCDやレンズを傷つけてしまうことがあります。

■使用できるCDは

● COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの付いたCD
●CD-DAフォーマットで記録された音楽用のCD-R/CD-RW
（ファイナライズされたもの）

※ 記録状態によっては、再生できないことがあります。
※ ファイナライズとは：音楽用CD-R/CD-RW再生対応機器で再生できるように処理すること。

■使用できないCDは

● ハート型など、特殊形状のCD（故障の原因となります。）

■使用を保証していないCDは

● 違法にコピーしたCD
● Dual Disc（デュアルディスク:両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）

## ⚠ カセットテープの取り扱いについて

●カセットテープは、ノーマルタイプで信頼のおけるメーカーのものをお使いください。
ハイポジションのテープは使用できますが、その特性を活かした再生や録音はできません。

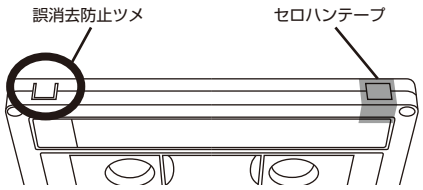
●90分以上のカセットテープ（C90以上）は、テープが薄いため、小刻みな走行、停止、早送り、巻き戻しを繰り返さないでください。回転部に巻き込まれることがあります。

●カセットテープは、リールの穴に鉛筆を差し込んで軽く回るものをお使いください。巻きが固いと、不具合の原因になります。

●長期間保存して劣化しているカセットテープは使用しないでください。切断や巻き込みの原因になります。

●カセットテープの誤消去防止ツメがない場合は、カセットテープに録音しようとして『録音』ボタンを押そうとしてもボタンは押せません。その場合は、誤消去防止ツメのあった部分をセロハンテープでふさいでください。

●エンドレステープは必ず、テープ付属の説明書に従ってください。
（誤使用により、テープが回転部に巻き込まれる原因になります。）




**⚠ 注意**

●使用後取り出した後は、必ずケースに入れて保管してください。
●印刷されているラベルははがさないでください。
●ラベル・シールを貼らないでください。
●テープに触らないでください。



## ⚠ SD/SDHCカードの取り扱いについて

**※本機はSDカードとSDHCカード（32GBまで）が使用できます。これ以降、SDカードと表示している場合でもSDHCカードを含みます。**

●本機ではSDカード、miniSDカード、microSDカードが使用できます。（miniSDカード、microSDカードをお使いの場合は、SDカードアダプターが必要です。）

●SDカードのロック（Lock）タブがロック（Lock）の位置にあると録音できません。録音する場合は解除してください。

●既にお使いのSDカード（miniSDカード、microSDカードを含む、以下同様）をご使用の場合はフォーマットが必要です。別途フォーマットを行ってください。
以前にデジタルカメラや携帯電話やPCなどでお使いになられたSDカードをフォーマットせずにそのままご使用になりますと、フリーズ等、正常に動作しない場合があります。
（※本機ではフォーマットすることができません。パソコンで**FAT形式**でフォーマットをしてください。なお、フォーマットをするとデータは全て消去されますので、大事なデータはパソコンでバックアップを行ってください。）

●SDカードによっては、正常に動作しない場合があります。すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

●再生可能なファイル形式は、MP3のみです。また、本機で録音されたファイルは、MP3形式で保存されます。

●録音中、絶対にSDカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。SDカードやデータが破損する恐れがあります。

●CCCDなど、コピー制限情報が埋め込まれている場合は録音できないことがあります。

●本機で録音されたSDカードは、著作権管理されたオーディオ機器や携帯電話では再生できません。また、それらの機器で録音されたSDカードは本機で再生できません。

●MP3CDからのSDカード録音はできません。

**⚠ 注意**

●金属端子部分に触らないでください。

## ⚠ USBメモリーの取り扱いについて

**※本機はUSBメモリー（32GBまで）が使用できます。**

●既にお使いのUSBメモリーをご使用の場合はフォーマットが必要です。別途フォーマットを行ってください。
以前に別の機器でお使いになられたUSBメモリーをフォーマットせずにそのままご使用になりますと、フリーズ等、正常に動作しない場合があります。
（※本機ではフォーマットすることができません。パソコンで**FAT形式**でフォーマットをしてください。なお、フォーマットをするとデータは全て消去されますので、大事なデータはパソコンでバックアップを行ってください。）

●USBメモリーによっては、正常に動作しない場合があります。すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

●再生可能なファイル形式は、MP3のみです。また、本機で録音されたファイルは、MP3形式で保存されます。

●録音中、絶対にUSBメモリーを取り外したり、電源を切ったりしないでください。USBメモリーやデータが破損する恐れがあります。

●CCCDなど、コピー制限情報が埋め込まれている場合は録音できないことがあります。

●本機で録音されたUSBメモリーは、著作権管理されたオーディオ機器や携帯電話では再生できません。また、それらの機器で録音されたUSBメモリーは本機で再生できません。

●MP3CDからのUSBメモリー録音はできません。

**⚠ 注意**

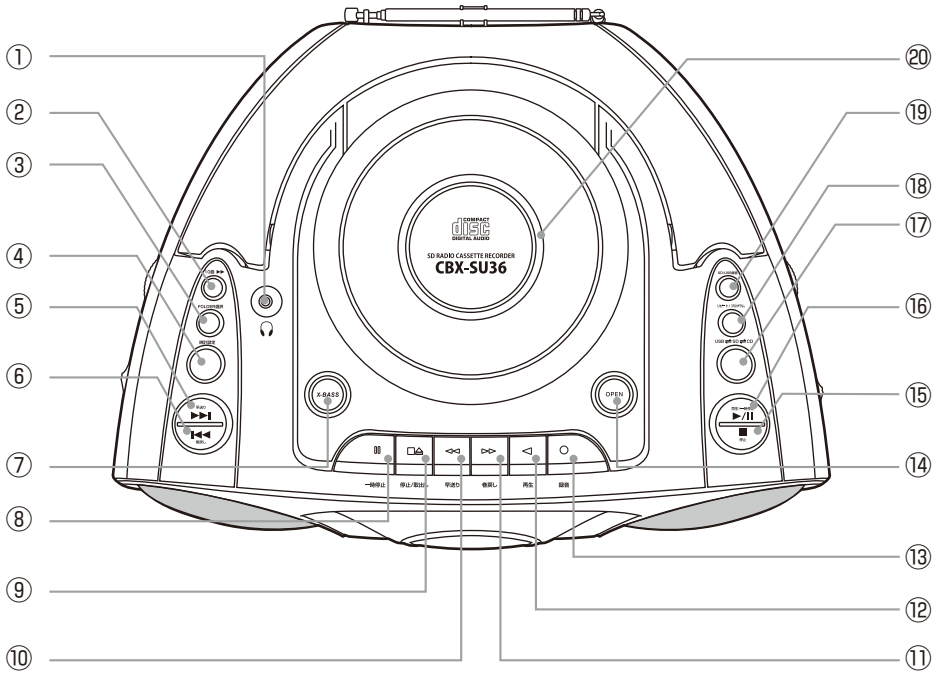
●金属端子部分に触らないでください。

## ⚠ ラジオについて

**⚠ 本機ではラジオの録音はできません。あらかじめご了承ください。**

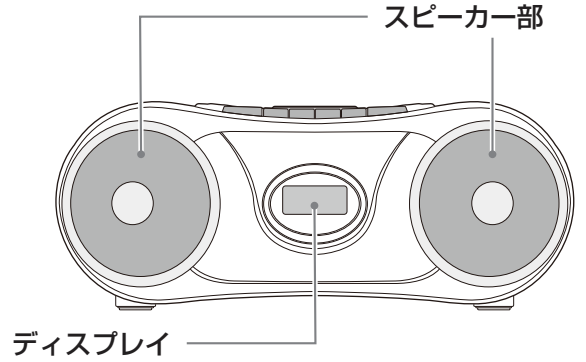
# 各部の名称

## 上　面

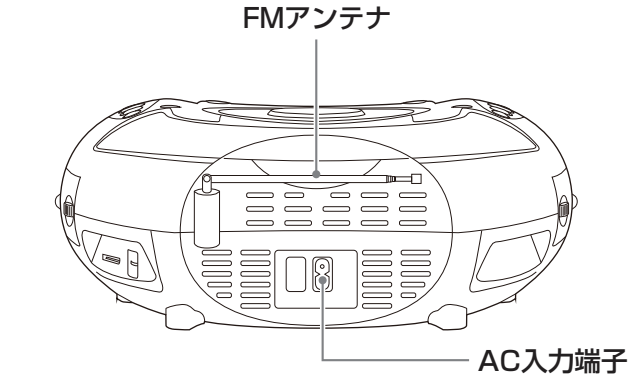



① ヘッドホンジャック
② 10 曲送りボタン
③ FOLDER 選択ボタン
④ 時計設定ボタン
⑤ 早送り（▶▶I）ボタン
⑥ 巻き戻し（I◀◀）ボタン
⑦ X-BASS ボタン
⑧ 一時停止ボタン（テープ）
⑨ 停止 / 取出しボタン（テープ）
⑩ 早送りボタン（テープ）
⑪ 巻き戻しボタン（テープ）
⑫ 再生ボタン（テープ）
⑬ 録音ボタン（テープ）
⑭ CD オープンボタン
⑮ 停止（■）ボタン
⑯ 再生 / 一時停止（▶/▮▮）ボタン
⑰ USB⇄SD⇄CD 切換ボタン
⑱ リピート / プログラムボタン
⑲ SD/USB 録音ボタン
⑳ CD ドア

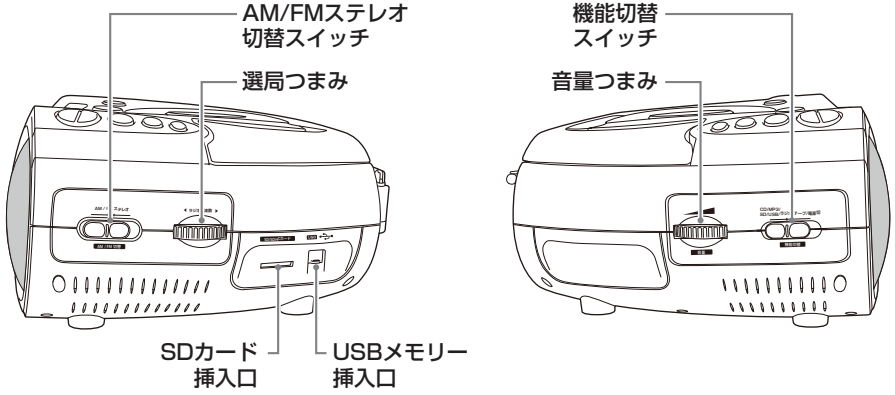
## 正　面




## 後　面



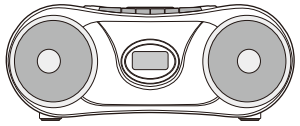

## 側　面



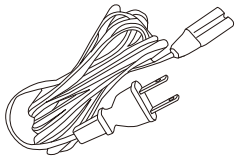

※イラストと実物は異なる場合があります。

# 本体付属品リスト

CBX-SU36 梱包には、下記のものが同梱されています。



本　体



電源コード

取扱説明書

保証書付(本書)

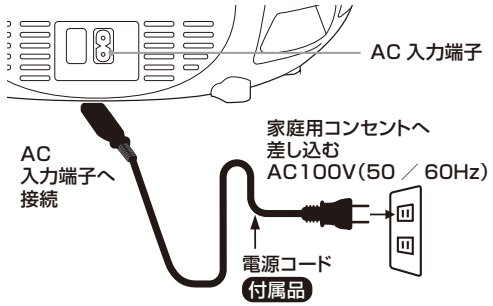
# 電源について

本機は、AC100V家庭用電源及び、乾電池のいずれかで使用できます。

## 家庭用電源を使うとき

●付属の電源コードを、背面にあるAC入力端子へ接続した後、家庭用コンセントへ差し込んでください。

●乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り替わります。




**お願い**

●電源コードを抜き差しするときは、**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」の位置に合わせてください。

●本機を使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

**※付属の電源コードは本機専用です。その他の機器には使用しないでください。**

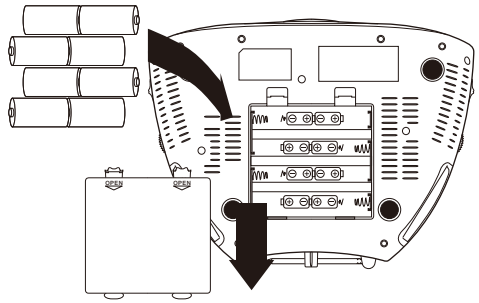
## 乾電池(別売り)で使うときは

本機底面の乾電池フタを開けてください。電池ボックスふたにある【PUSH】マークを押しながら開いてください。

次に、電池ボックス内の表示通りに、単2形乾電池(別売)を8本＋−の極性を正しく入れます。

電池を入れたら、乾電池フタを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。

使用される乾電池はアルカリ乾電池を推奨します。
**※充電池の使用はできません。**



※充電池をご使用の際は微妙なサイズ違いにご注意ください。
接触不良を起こす場合があります。

**お願い**

●電池残量が少なくなるとCDプレーヤーが動かなくなりますので、CD再生を聴くときは、付属の電源コードでの使用をお薦めします。

●乾電池を入れたまま長時間放置すると、乾電池の消耗が進みます。また、液もれの原因になることがあります。長時間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

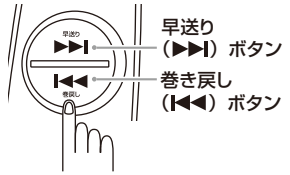


# 時計の設定

## 24時間表示／12時間表示の選択

1.電源切の状態で、上面の**時計設定ボタン**を長押しします。時計設定モードに切り替わり、ディスプレイが点滅します。

2.上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**もしくは**巻き戻し(I◀◀)ボタン**を押して、24時間表示もしくは12時間表示に設定します。

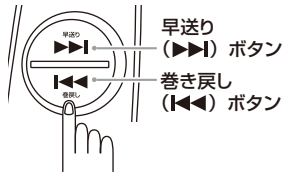



3.しばらく待つと通常モードに戻り、24時間表示／12時間表示の設定が終了します。12時間表示に設定した場合、ディスプレイ左側にAMかPMが表示されます。

## 時計の設定

1.電源をOFFにした状態で、上面の**時計設定ボタン**を長押しします。時計設定モードになり、ディスプレイの表示が点滅します。もう一度**時計設定**ボタンを押します。

2.上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**もしくは**巻き戻し(I◀◀)ボタン**を押して、時計の"時"を合わせます。"時"を合わせたら**時計設定ボタン**を押し、同じように時計の"分"を合わせます。




3.**時計設定ボタン**を押すか、しばらく待つと、通常モードに戻り時計の設定が終了します。

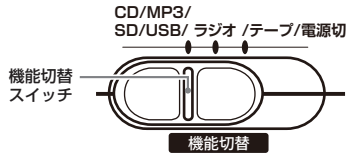
**⚠ 注意**

※時計の設定を行うときは、家庭用電源がつながっているときか、乾電池が入っているときに行ってください。電源が入らない状態で時計の設定を行うことはできません。
※一度電源を抜くと設定がリセットされますので、再度設定を行ってください。

# CDを聴く

## CDを再生する

1.側面の**機能切替スイッチ**を「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。
ディスプレイに「cd」と表示されます。

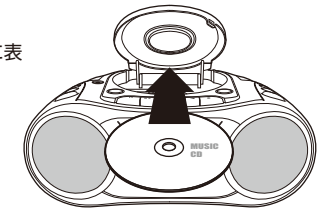


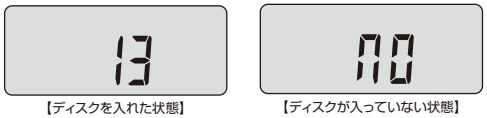

2.上面の**CDオープンボタン**を押して**CDドア**を開きます。

3.CDのラベルが印刷されている面を上にしてCDをカチッと音がするまで挿入します。

4.**CDドア**を押して閉じます。

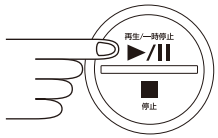
5.**CDドア**を閉めると自動的にディスクが回り、収録されている曲数がディスプレイに表示されます。ディスクが入っていないと、ディスプレイに「NO」と表示されます。





【ディスクを入れた状態】　【ディスクが入っていない状態】

6.上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**または**巻き戻し(I◀◀)ボタン**で曲目を選択します。
選択しなければ、1曲目からの再生になります。



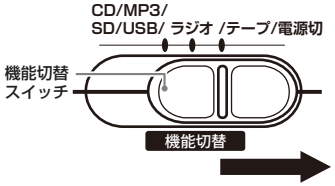

7.上面右側の**再生/一時停止(▶/II)ボタン**を押すと、ディスプレイに再生マーク「▶」が点灯し、再生を開始します。ディスプレイ中央にはトラック経過時間が表示されます。

【再生中】

8.側面の**音量つまみ**で音量を調節します。

9.再生を終えるときは上面右側の**停止(■)ボタン**を押します。

10.電源を切るときは側面の**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」にします。

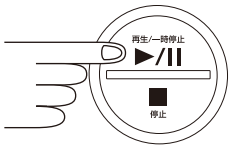



**⚠ 注意**

※再生中にCDドアを絶対に開けないでください。CDプレーヤーが故障したり、CDが傷ついてしまう原因となります。必ず本機から取り出す前に、CDを停止してください。
※本機で再生できない形式で録音されているCDを入れた時も、「NO」と表示されます。(P.14を参照)

## 一時停止

●CD再生中に上面右側の**再生/一時停止(▶/II)ボタン**を押すと、ディスプレイが点滅し、再生を一時停止します。
もう一度押すと、一時停止したところから再生を開始します。



【一時停止中】



## スキップ再生／巻き戻し再生

### ■ スキップ再生

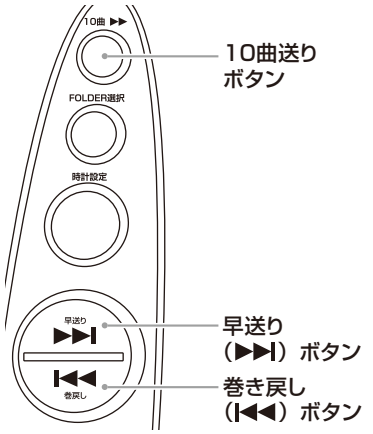
●再生中、上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**を1回押すごとに、先の曲に進み、曲の頭から再生が始まります。逆に上面左側の**巻き戻し(I◀◀)ボタン**を押すとその曲の頭から、2回押すと前の曲の頭から再生が始まります(押すごとに前の曲の頭に戻ります)。

### ■ サーチ再生

●再生中に上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**を押し続けると早送りに、逆に**巻き戻し(I◀◀)ボタン**を押し続けると巻き戻しになります。小さく再生音が聞こえますので、音を聴きながら希望のところで指を離します。

### ■ 10曲送り再生

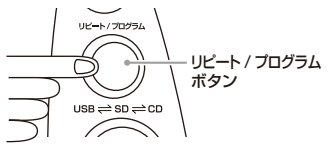
●再生中に、上面の**10曲送りボタン**を1回押すごとに、10曲先の曲に進み、曲の頭から再生が始まります。10曲先のトラックがない場合、CDの先頭の曲に戻って再生します。




## リピート再生

### ■ 1曲リピート再生

1.再生中に上面の**リピート/プログラムボタン**を1回押すと、ディスプレイの「REP」が点灯します。




2.再生中の場合は、そのままその曲の繰り返し再生に入ります。ほかの曲をリピートしたい場合は上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**または**巻き戻し(I◀◀)ボタン**で聴きたい曲を選択します。また、**再生/一時停止(▶/II)ボタン**を押すと選択した曲を繰り返し再生します。

3.リピート再生を止めるときは、**リピート/プログラムボタン**を2回押すか、**停止(■)ボタン**を押します。ディスプレイの「REP」が消灯します。

### ■ 全曲リピート再生

1.再生中に**リピート/プログラムボタン**を2回押すと、ディスプレイに「REP」と「ALL」が点灯します。CDに入っている最初からすべての曲が順番に繰り返し再生されます。

2.リピート再生を止めるときは、**リピート/プログラムボタン**を1回押すか、**停止(■)ボタン**を押します。ディスプレイの「REP」と「ALL」が消灯します。

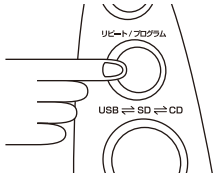
# CDを聴く

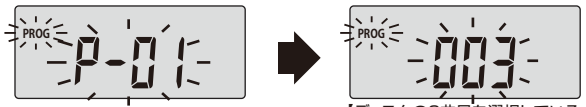
## プログラム再生

再生する曲順をお好みの順番で再生できます。プログラムできる最大曲数は20曲です。

1.CDが停止しているときに、上面の**リピート/プログラムボタン**を押します。

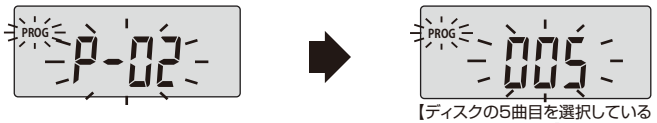
2.再生順を示す「P-01」と「PROG」が点滅します。上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**または**巻き戻し(I◀◀)ボタン**で曲目を選択します。




【ディスクの3曲目を選択している状態】

3.**リピート/プログラムボタン**を押し、曲をプログラムすると、次の再生順を示す「P-02」が点滅します。
再び、**早送り(▶▶I)ボタン**または**巻き戻し(I◀◀)ボタン**で曲番号を選択します。(下の例はCDの5曲目を選択)
目的の曲番号を表示させて、**リピート/プログラムボタン**を押すと曲がプログラムされます。




【ディスクの5曲目を選択している状態】

4.2.～3.の作業を繰り返して、お好みのプログラムをお作りください。

5.プログラム設定が終了したら、上面右側の**再生/一時停止(▶/II)ボタン**を押します。

6.ディスプレイの「PROG」が点灯し、ディスプレイに再生されているトラック番号が表示されます。すべての曲がプログラムされた順序で演奏されます。(プログラムされた曲の1番目より再生)

7.演奏の途中で次にプログラムした曲を聴きたい場合は、上面右側の**早送り(▶▶I)ボタン**を押します。

8.再生を止めるときは、上面左側の**停止(■)ボタン**を押します。セットされたCDの全曲数が表示されます。

9.すべての曲が終了すると、CDプレーヤーが停止します。プログラムをクリアするには、CDを取り出すか、**停止(■)ボタン**を押します。

※20番目までプログラムすると、ディスプレイに「FULL」が点滅表示されます。21番目以上をプログラムすることはできません。
※再生中や、CDを入れていない状態ではプログラム予約はできません。
※プログラムをクリアするには、停止した状態でCDを取り出すか、**停止(■)ボタン**を2回押します。
※リピート機能を併用すると、プログラム再生を繰り返し聴くことができます。6.のあとに、**リピート/プログラムボタン**を2回押すと、プログラム全体のリピート再生が始まります。

### 再生できるCDについて

**CD、CD-R、CD-RWを再生することができます。**

- CDの規格に準拠していないディスクについては再生できないことがあります。また記録方式によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RW の読み込みに失敗すると、CDディスプレイに『E』と表示されることがあります。CD開閉用フックを上げてCDドアを一度開け、閉め直します。または、適切なディスクをセットしてください。
- WMA、WMVファイル形式のディスクやVCD(ビデオCD)は再生できません。
- 本機ではCD-R/RWディスクに録音することはできません。

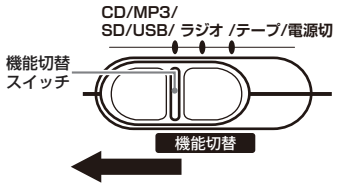


# SDカードを使う

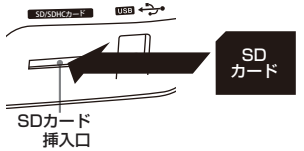
## SDカードを再生する

※本機で再生できるファイル形式はMP3のみです。それ以外のファイル形式は再生できません。
※パソコンからコピーしたMP3ファイルも再生できますが、著作権保護されたファイルは再生できません。
※SDカードによっては、再生しなかったり、音飛び、ノイズ等正常に動作しない場合があります。すべてのSDカードの再生／録音を保証するものではありません。
※SDカード内に音楽ファイル以外のデータがある場合、SDカードを認識しない場合があります。

1.側面の**機能切替スイッチ**を「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。




2.側面の**SDカード挿入口**にMP3ファイルをパソコンでコピーした(または本機で録音した)SDカードを挿入します。




3.上面の**USB⇄SD⇄CD切換ボタン**を繰り返し押して、ディスプレイに「Sd」と表示させます。その後、ディスプレイにトラック数が表示されます。SDカードに再生可能なファイルが存在しないと、ディスプレイに「NO」と表示されます。

4.上面右側の**再生/一時停止(▶/II)ボタン**を押すと、ディスプレイに再生マーク「▶」が点灯し、再生を開始します。ディスプレイ中央にはトラック経過時間が表示されます。

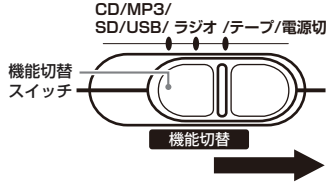
SDカードモード

5.側面の**音量つまみ**で音量を調節します。

【再生中】

6.一時停止するには**再生/一時停止(▶/II)ボタン**を押します。再度押すと再生を再開します。

7.スキップ再生、サーチ再生を行うには、上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**もしくは**巻き戻し(I◀◀)ボタン**を使って操作します。




8.再生中に、上面の**10曲送りボタン**を1回押すごとに、10曲先の曲に進み、曲の頭から再生が始まります。10曲先のトラックがない場合、次のフォルダの先頭の曲に進むか、次のフォルダーがない場合、一番最初のフォルダの先頭の曲に戻ります。

8.再生を終えるときは上面右側の**停止(■)ボタン**を押します。

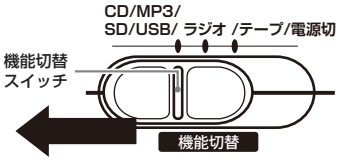
9.電源を切るときは**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」にします。

※「リピート再生」「プログラム再生」もできます。(13ページ、14ページ参照)
※上面の**FOLDER選択ボタン**を押すと、SDカード内のフォルダーを選択することができます。**FOLDER選択ボタン**を押すごとに、「F001」「F002」「F003」…とフォルダーを切り替えることができます。
※SDカードに再生可能なファイルが存在しないと、ディスプレイに「NO」と表示されます。SDカード内に再生可能なファイル(MP3形式)を入れるか、録音を行ってください。
※SDカードのフォーマットが異なっている場合(NTFSもしくはMac OS拡張)、ディスプレイに「Error」と表示されます。
パソコンでFAT形式でフォーマットを行ってください。

# SDカードを使う

## CDからSDカードに録音する(1曲録音の場合)

1.側面の**機能切替スイッチ**を「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。



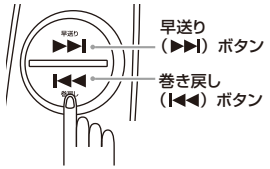

2.側面の**SDカード挿入口**に空き容量のあるSDカードを挿入します。

3.CDモードに切り替えます。ディスプレイに「Cd」が表示されるのを確認してください。もし表示されない場合、**USB⇄SD⇄CD切換ボタン**を繰り返し押して、ディスプレイに「Cd」を表示させます。

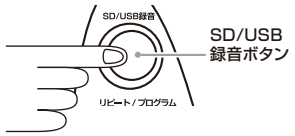
【CDモード時のディスプレイ表示】

4.上面の**CDオープンボタン**を押して**CDドア**を開き、ラベルが印刷されている面を上にしてCDをカチッと音がするまで挿入し、CDドアを閉めます。

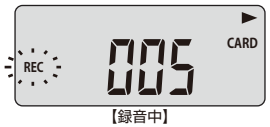
5.録音する曲目を側面の**早送り(▶▶|)ボタン**もしくは**巻き戻しボタン(|◀◀)**を押して選択します。




6.録音したい曲目が確定したら、上面の**SD/USB録音ボタン**を押します。録音と同時に曲が再生され、ディスプレイに「REC」が点滅し、録音されているトラック番号が表示されます。




7.録音が完了すると、自動で再生が停止します。
途中で任意に録音を停止する場合は、**停止(■)ボタン**を押します。
録音された音源は、SDカード内の「RIP」フォルダーに格納されます。



【録音中】

**⚠ 注意**

ラジカセ本体に、SDカードと同時にUSBメモリーが挿入されていると、優先的にUSBメモリーに録音されます。SDカードに録音したい場合、USBメモリーを必ず抜いてから、SDカードに録音してください。

※SDカードのロック(Lock)タブがロックの位置にあると録音できません。録音する場合は解除してください。

※SDカードを挿入しても認識しない場合は、1度SDカードを抜き、再度挿入してください。それでも認識しない場合は、CPUをリセットするためにSDカードを挿入したままで本体の電源を1度切り、再度電源を入れてください。

※SDカードによっては正常に動作しない場合があります。すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

※既に他の機器でお使いのSDカードをご使用の場合は、SDカードのフォーマットが必要な場合があります。フォーマットを行うとSDカード内のデータが消去されますので、必要なデータはパソコン等でバックアップをお取りください。

※録音中に電源を切ったり、SDカードを抜かないでください。データが破損する場合があります。

※SDカードに再生可能なファイルが存在しないと、ディスプレイに「nO」と表示されます。

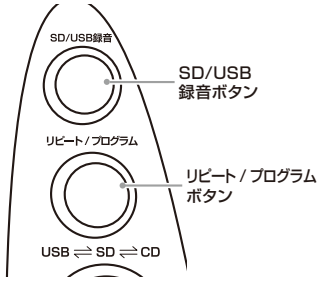


## CDからSDカードに録音する(全曲録音の場合)※1

1.側面の**機能切替スイッチ**を「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。

2.側面の**SDカード挿入口**に空き容量のあるUSBメモリーを挿入します。

3.CDモードに切り替えます。ディスプレイに「Cd」が表示されるのを確認してください。もし表示されない場合、**USB⇄SD⇄CD切換ボタン**を繰り返し押して、ディスプレイに「Cd」を表示させます。



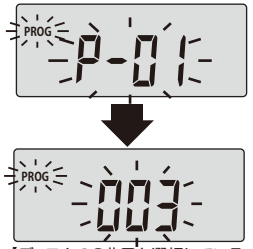

4.上面の**CDオープンボタン**を押して**CDドア**を開き、ラベルが印刷されている面を上にしてCDをカチッと音がするまで挿入し、CDドアを閉めます。

【CDモード時のディスプレイ表示】

5.CDが停止しているときに、上面の**リピート/プログラムボタン**を1回押します。

6.録音順を示す「P-01」と「PROG」が点滅します。上面左側の**早送り(▶▶|)ボタン**または**巻き戻し(|◀◀)ボタン**で録音したい曲を選択します。

7.SDカード内の録音したいフォルダを選択するために、**FOLDER選択ボタン**を押します。

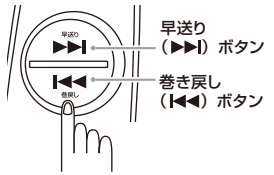


【ディスクの3曲目を選択している状態】

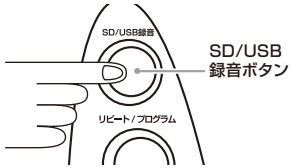
8.録音したい曲目が確定したら、**リピート/プログラムボタン**を押します。

9.6.～8.の作業を繰り返して、全曲を録音します。

10.録音したい曲目をプログラムしたら、上面の**SD/USB録音ボタン**を押します。録音と同時に曲が再生され、ディスプレイに「REC」が点滅し、録音されているトラック番号が表示されます。




11.録音が完了すると、自動で再生が停止します。
途中で任意に録音を停止する場合は、**停止(■)ボタン**を押します。
録音された音源は、SDカード内の「RIP」フォルダーに格納されます。



【録音中】

**⚠ 注意**

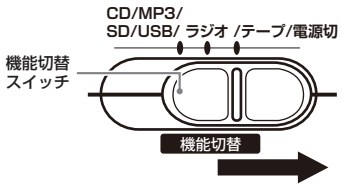
※1 全曲を録音する場合、必ずプログラム録音となっており、一度の録音で最大20曲までプログラム対応できます。それ以上の曲数を録音する場合は、再度同じ手順を繰り返してください。

※2 ラジカセ本体に、SDカードと同時にUSBメモリーが挿入されていると、優先的にUSBメモリーに録音されます。SDカードに録音したい場合、USBメモリーを必ず抜いてから、SDカードに録音してください。

# SDカードを使う

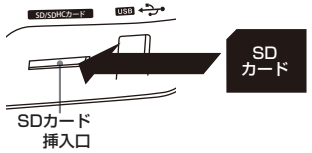
## テープからSDカードに録音する

1.側面の**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」にし、カセットデッキにカセットテープを挿入します。

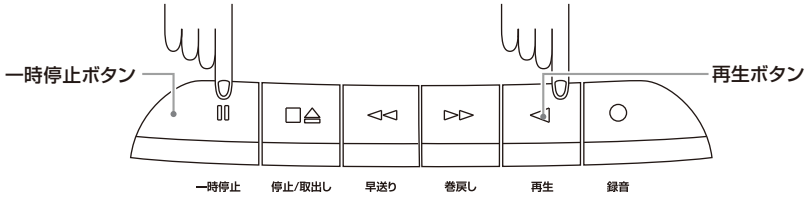



●カセットのテープ面を上に、再生面を手前にして入れます。
●カセットドアを確実に閉めてください。
●テープはたるみのない状態で入れてください。たるんでいる場合は鉛筆などをリールに差し込みテープの緩みがなくなるまで回してください。また鉛筆でリールが軽く回らないカセットテープは、ご使用にならないでください。

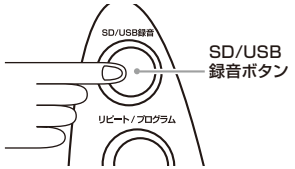
2.側面の**SDカード挿入口**に空き容量のあるSDカードを挿入します。




3.カセットデッキ部の**再生ボタン**を押してテープを再生し、録音したい部分の直前でカセットデッキ部の**一時停止ボタン**を押します。




4.上面の**SD/USB録音ボタン**を押すと、ディスプレイに「REC」が点滅します。
録音のウォーミングアップが完了する約2秒後に、カセットデッキ部の**一時停止ボタン**を押し、一時停止を解除して録音を開始します。




5.録音中にカセットデッキ部の**停止/取出しボタン**を押すと、録音を停止します。
録音された音源は、SDカード内の「REC」フォルダーに格納されます。
※SDカードの停止は、**停止(■)ボタン**を押します。

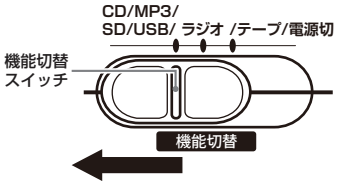


# USBメモリーを使う

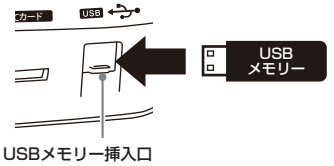
## USBメモリーを再生する

※本機で再生できるファイル形式はMP3のみです。それ以外のファイル形式は再生できません。
※パソコンからコピーしたMP3ファイルも再生できますが、著作権保護されたファイルは再生できません。
※USBメモリーによっては、再生しなかったり、音飛び、ノイズ等正常に動作しない場合があります。すべてのUSBメモリーの再生／録音を保証するものではありません。

1.側面の**機能切替スイッチ**を「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。




2.側面の**USBメモリー挿入口**にMP3ファイルをパソコンでコピーした(または本機で録音した)USBメモリーを挿入します。




3.上面の**USB⇄SD⇄CD切換ボタン**を繰り返し押して、ディスプレイに「USb」と表示させます。ディスプレイにトラック数が表示されます。USBメモリーに再生可能なファイルが存在しないと、ディスプレイに「nO」と表示されます。

4.上面右側の**再生/一時停止(▶/❚❚)ボタン**を押すと、ディスプレイに再生マーク「▶」が点灯し、再生を開始します。ディスプレイにはトラック経過時間が表示されます。

【USBメモリーモード】

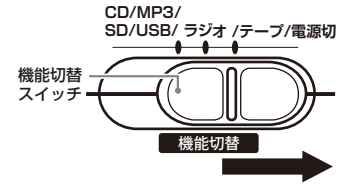
5.**音量つまみ**で音量を調節します。

6.一時停止するには、**再生/一時停止(▶/❚❚)ボタン**を押します。再度押すと再生を再開します。

【再生中】

7.スキップ再生、サーチ再生を行うには、**早送り(▶▶❙)ボタン**もしくは**巻き戻し(❙◀◀)ボタン**を使って操作します。

8.再生中、上面の**10曲送りボタン**を1回押すごとに、10曲先の曲に進み、曲の頭から再生が始まります。10曲先のトラックがない場合、次のフォルダの先頭の曲に進むか、次のフォルダーがない場合、一番最初のフォルダの先頭の曲に戻ります。




9.再生を終えるときは上面右側の**停止(■)ボタン**を押します。

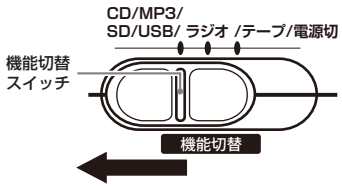
10.電源を切るときは**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」にします。

※「リピート再生」「プログラム再生」もできます。(13ページ、14ページ参照)
※上面の**FOLDER選択ボタン**を押すと、USBメモリー内のフォルダーを選択することができます。**FOLDER選択ボタン**を押すごとに、「F00 1」「F002」「F003」…とフォルダーを切り替えることができます。
※USBメモリーに再生可能なファイルが存在しないと、ディスプレイに「nO」と表示されます。USBメモリー内に再生可能なファイル(MP3形式)を入れるか、録音を行ってください。
※USBメモリーのフォーマットが異なっている場合(NTFSもしくはMac OS拡張)、ディスプレイに「Error」と表示されます。
パソコンでFAT形式でフォーマットを行ってください。

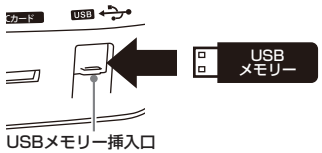
# USBメモリーを使う

## CDからUSBメモリーに録音する(1曲録音の場合)

1.側面の**機能切替スイッチ**を「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。




2.側面の**USBメモリー挿入口**に空き容量のあるUSBメモリーを挿入します。

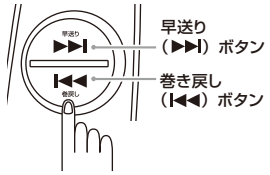



3.CDモードに切り替えます。ディスプレイに「Cd」が表示されるのを確認してください。もし表示されない場合、**USB⇄SD⇄CD切換ボタン**を繰り返し押して、ディスプレイに「Cd」を表示させます。

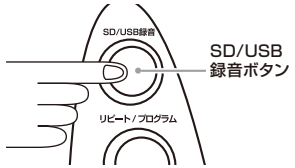
【CDモード時のディスプレイ表示】

4.上面の**CDオープンボタン**を押して**CDドア**を開き、ラベルが印刷されている面を上にしてCDをカチッと音がするまで挿入し、CDドアを閉めます。

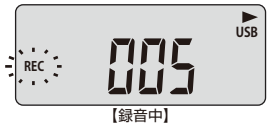
5.録音する曲目を上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**もしくは**巻き戻しボタン(I◀◀)**を押して選択します。




6.録音したい曲目が確定したら、上面の**SD/USB録音ボタン**を押します。録音と同時に曲が再生され、ディスプレイに「REC」が点滅し、録音されているトラック番号が表示されます。




7.録音が完了すると、自動で再生が停止します。
途中で任意に録音を停止する場合は、**停止(■)ボタン**を押します。
録音された音源は、USBメモリー内の「RIP」フォルダーに格納されます。



【録音中】

※USBメモリーを抜き差ししても認識しない場合は、CPUをリセットするためにUSBメモリーを挿入したままで本体本部の電源スイッチを1度切り、再度入れてください。
※USBメモリーによっては正常に動作しない場合があります。すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
※既に他の機器でお使いのUSBメモリーをご使用の場合は、USBメモリーのフォーマットが必要な場合があります。パソコンでFAT形式でフォーマットしてください。フォーマットを行うとデータは消去されますので、必要なデータはパソコン等でバックアップをお取りください。
※録音中に電源を切ったり、USBメモリーを抜かないでください。データが破損する場合があります。
※USBメモリーに再生可能なファイルが存在しないと、ディスプレイに「no」と表示されます。

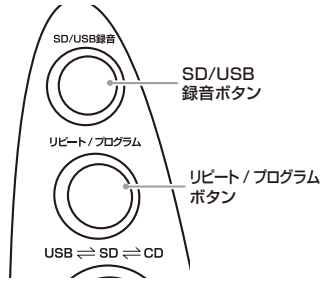


## CDからUSBメモリーに録音する(全曲録音の場合)

1.側面の**機能切替スイッチ**を「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。

2.側面の**USBメモリー挿入口**に空き容量のあるUSBメモリーを挿入します。

3.上面の**CDオープンボタン**を押して**CDドア**を開き、ラベルが印刷されている面を上にしてCDをカチッと音がするまで挿入し、CDドアを閉めます。




4.CDモードに切り替えます。ディスプレイに「Cd」が表示されるのを確認してください。もし表示されない場合、**USB⇄SD⇄CD切換ボタン**を繰り返し押して、ディスプレイに「Cd」を表示させます。

【CDモード時のディスプレイ表示】

5.CDが停止しているときに、上面の**リピート/プログラムボタン**を1回押します。

6.録音順を示す「P-01」と「PROG」が点滅します。上面左側の**早送り(▶▶I)ボタン**または**巻き戻し(I◀◀)ボタン**で録音したい曲を選択します。

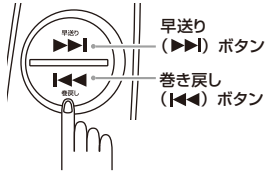
7.USBメモリー内の録音したいフォルダを選択するために、FOLDER選択ボタンを押します。

8.録音したい曲目が確定したら、**リピート/プログラムボタン**を押します。

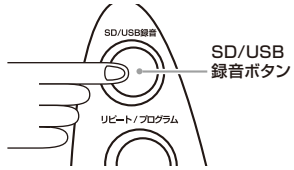
【ディスクの3曲目を選択している状態】

9.6.～8.の作業を繰り返して、全曲を録音します。

10.録音したい曲目をプログラムしたら、上面の**SD/USB録音ボタン**を押します。録音と同時に曲が再生され、ディスプレイに「REC」が点滅し、録音されているトラック番号が表示されます。

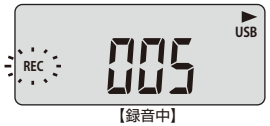



11.録音が完了すると、自動で再生が停止します。
途中で任意に録音を停止する場合は、**停止(■)ボタン**を押します。
録音された音源は、USBメモリー内の「RIP」フォルダーに格納されます。




**⚠ 注意**

全曲を録音する場合、必ずプログラム録音となっており、一度の録音で最大20曲までプログラム対応できます。それ以上の曲数を録音する場合は、再度同じ手順を繰り返してください。

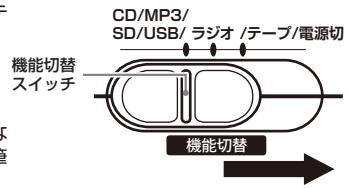


【録音中】

# USBメモリーを使う

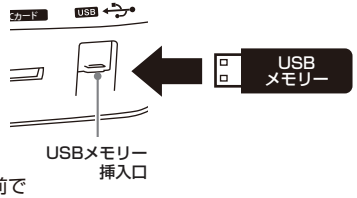
## テープからUSBメモリーに録音する

1.側面の**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」にし、カセットデッキにカセットテープを挿入します。

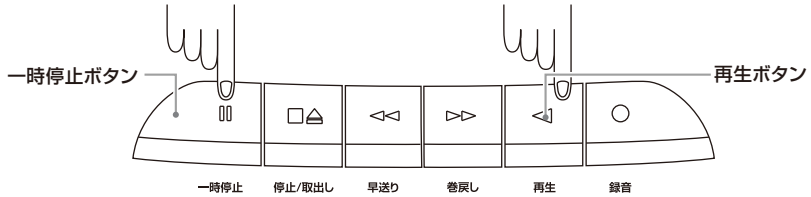



●カセットのテープ面を上に、再生面を手前にして入れます。
●カセットドアを確実に閉めてください。
●テープはたるみのない状態で入れてください。たるんでいる場合は鉛筆などをリールに差し込みテープの緩みがなくなるまで回してください。また鉛筆でリールが軽く回らないカセットテープは、ご使用にならないでください。

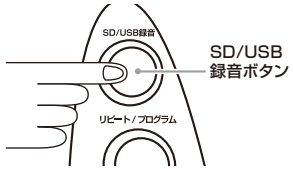
2.側面の**USBメモリー挿入口**に空き容量のあるUSBメモリーを挿入します。




3.カセットデッキ部の**再生ボタン**を押してテープを再生し、録音したい部分の直前でカセットデッキ部の**一時停止ボタン**を押します。




4.上面の**SD/USB録音ボタン**を押すと、ディスプレイに「REC」が点滅します。
録音のウォーミングアップが完了する約2秒後に、カセットデッキ部の**一時停止ボタン**を押し、一時停止を解除して録音を開始します。



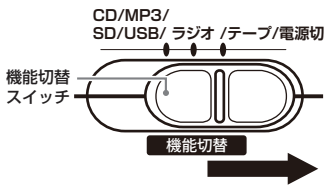

5.録音中にカセットデッキ部の**停止/取出しボタン**を押すと、録音を停止します。
録音された音源は、USBメモリー内の「REC」フォルダーに格納されます。
※USBメモリーの停止は、**停止(■)ボタン**を押します。



# カセットを使う

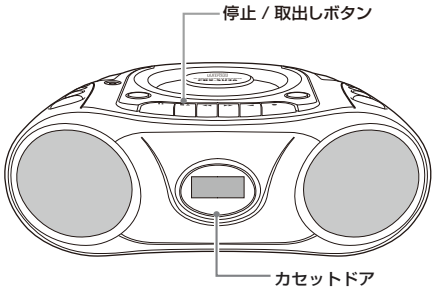
## テープを操作する

1.側面の**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」にします。



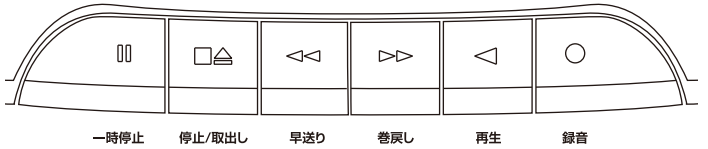

2.カセットデッキ部の**停止/取出しボタン**を押して、カセットドアを開け、カセットテープを入れます。

●カセットのテープ面を上に、再生面を手前にして入れます。
●カセットドアを確実に閉めてください。
●テープはたるみのない状態で入れてください。たるんでいる場合は鉛筆などをリールに差し込みテープの緩みがなくなるまで回してください。また鉛筆でリールが軽く回らないカセットテープは、ご使用にならないでください。




3.カセットデッキ部のボタンで各操作をしてください。

●本体カセットテープボタンの操作



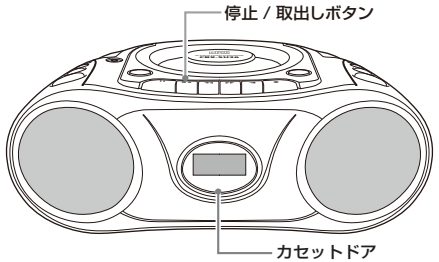

| | |
|---|---|
| 一時停止 | 再生を一時停止します。 |
| 停止/取出し | 再生を止めます。もう一度押すと、テープを取り出します。 |
| 早送り | テープを早送りします。 |
| 巻戻し | テープを巻き戻します。 |
| 再生 | テープを再生します。 |
| 録音 | 再生ボタンと一緒に押すと、録音を開始します。 |

# カセットを使う

## テープに録音する

1.カセットデッキ部の**停止/取出しボタン**を押して**カセットドア**を開け、テープを入れます。

●カセットのテープ面を上に、録音/再生面を手前にして入れます。
●カセットドアを確実に閉めてください。
●テープはたるみのない状態で入れてください。たるんでいる場合は鉛筆などをリールに差し込みテープの緩みがなくなるまで回してください。また鉛筆でリールが軽く回らないカセットテープは、ご使用にならないでください。




2.側面の**機能切替スイッチ**を、「ラジオ」もしくは「CD/MP3/SD/USB」にして電源を入れます。
上面の**USB⇄SD⇄CD切換ボタン**を押して、録音したい音源を選びます。

| 録音音源の選択 | ディスプレイ表示 |
|---|---|
| CDを録音する | CD |
| USBメモリーのデータを録音する | USB(USB) |
| SDカードのデータを録音する | SD(CARD) |

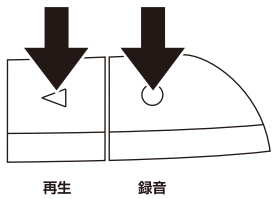
【CDモード】

【USBメモリーモード】

【SDカードモード】

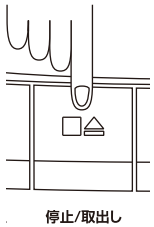
3.音源が再生されている状態で、カセットデッキ部の**録音ボタン**と**再生ボタン**を同時に押すと、録音が開始されます。

※カセットテープの取り扱いは6ページを参照してください。
※カセットテープの誤消去防止ツメがない場合は、録音ボタンは押せません。その場合は、ツメのあった部分をセロハンテープでふさいでください。
※テープの最初の部分には2～3秒録音されない部分(リーダーテープ部)があります。その分を考慮して、テープを送っておくと頭切れを防ぐことができます。
※カセットテープが入っていない場合は、**録音ボタン**は押せません。




4.録音を停止するには、カセットデッキ部の**停止/取出しボタン**を押します。

5.カセットテープを取り出すには、もう一度**停止/取出しボタン**を押します。





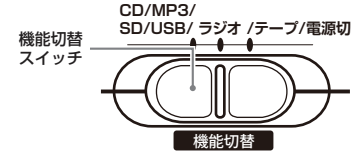

# ラジオを聴く

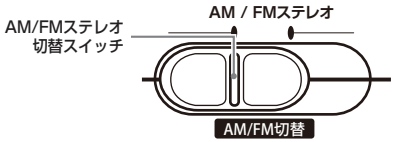
1.側面の**機能切替スイッチ**を真ん中の「ラジオ」にします。

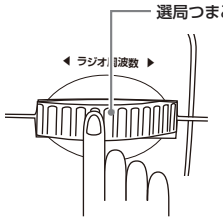
2.側面の**AM/FMステレオ切替スイッチ**で、「AM」または「FM」を選択します。ディスプレイ上に「AM」もしくは「FM」と表示されます。

3.側面の**選局つまみ**を使って、お好みの局に周波数を合わせます。

4.側面の**音量つまみ**で音量を調節します。



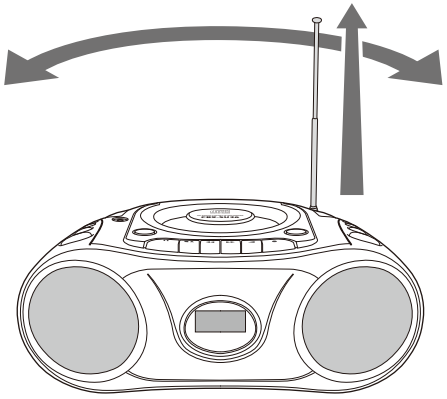



※ラジオを切るには、本体の**機能切替スイッチ**を「テープ/電源切」にします。
※鉄筋コンクリート建物の内部、鉄筋や金属を使用した建物の立ち並ぶところ、電波発信場所からの遠い場所では、電波を受信できなかったり、雑音が増える場合があります。

## 受信状態を良くするには

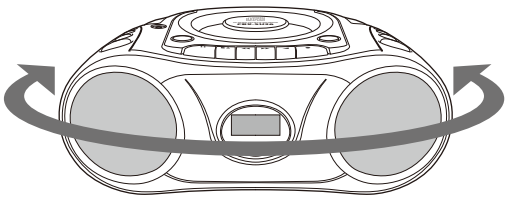
### ■ FM放送の受信

●FMアンテナをいっぱいに伸ばし、長さを変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。



### ■ AM放送の受信

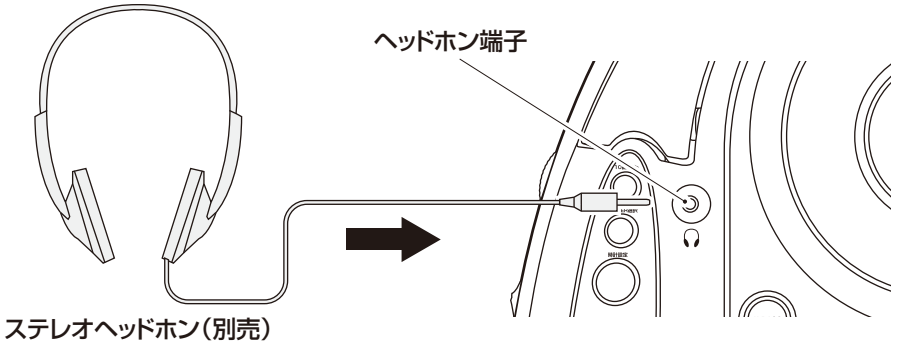
●本機にバーアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。



※FMアンテナは収納式です。
※アンテナを伸ばした時は、先端でケガ(特に目など)をしないように注意してください。
※テレビの近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。このようなときは、本機をはなしてご使用ください。

# ヘッドホンの使用

ミニプラグ付のステレオヘッドホン（市販）を上面のヘッドホン端子に接続します。
※ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。

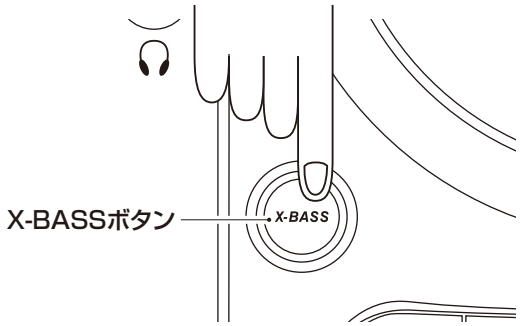



**お願い**

●ヘッドホンを使用するときは、本機の音量を下げた状態でヘッドホン端子に接続してください。
また、使用時の音量の上げすぎにも注意してください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

# X-BASSについて

本体上面の **X-BASS ボタン**を押すと、低音域が強調された音質に切り換わります。
もう一度押すと、元の音質に戻ります。
好みに合わせてお使いいただけます。





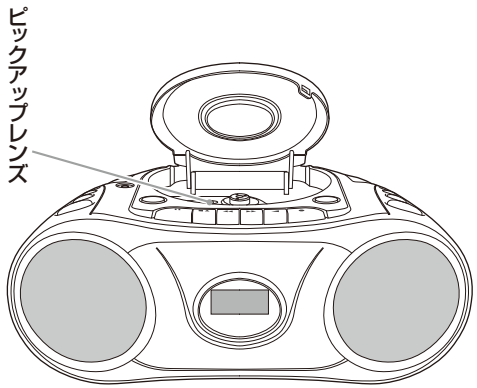

# お手入れ方法

## ピックアップレンズ部のクリーニングのしかた

レンズの汚れは音とびなど、再生ができなくなる原因となります。

●CDドアを開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロアー（エアスプレー）でクリーニングしてください。

●万一指紋がついているときは市販のレンズクリーナーをお使いください。




**お願い**

●布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。

## キャビネットの清掃

●キャビネットやパネル操作面が汚れたら、やわらかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布につけて拭き、後にから拭きしてください。

●ほこりが入らないように、CDドアは常に閉めておいてください。

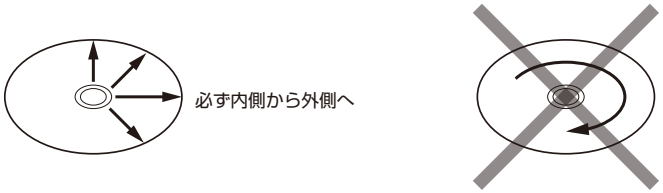
●電源コードの家庭用コンセントに挿す側のプラグにほこりがたまると発火する危険があります。プラグも時々掃除してください。

**お願い**

●ベンジン、シンナーなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対に使用しないでください。

## コンパクトディスクのお手入れ

再生する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などをやわらかい布で拭きとってください。必ず内側から外側に拭いてください。




●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。

●キャビネットやパネル操作面をシンナーやベンジン、アルコールなどで拭いたりしますと変質したり、塗料が剥げることがありますので避けてください。

●ほかの洗剤等をお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

# 製品仕様

| | |
|---|---|
| 電源 | AC100V（50/60Hz）<br>DC 12V　単 2 形乾電池 ×8 本【別売】 |
| LED ディスプレイ | CD/Radio ファンクション表示 |
| 消費電力 | 18W |
| 実用最大出力 | 2 W+2 W |
| ヘッドフォン端子 | 搭載（φ3.5mm ステレオミニジャック） |
| Bass Booster | 搭載（X-BASS） |
| 再生可能ディスク | 音楽 CD・CD-R・CD-RW |
| 受信周波数 | FM76 ～ 90 MHz ／ AM530 ～ 1,605 kHz |
| 本体寸法 | 340(幅)×260(奥行)×130(高さ)mm |
| 質量 | 約 2.5 kg（電池含まず） |
| 付属品 | 電源コード、取扱説明書（保証書付） |
| 対応メモリー | 32GB までの SD カード、SDHC カード、USB フラッシュメモリー（別売） |

| | |
|---|---|
| 乾電池使用時の<br>再生可能時間目安 | CD：約 9 時間 |
| | SD カード：約 10 時間 |
| | USB メモリ：約 10 時間 |
| | カセット：約 10 時間 |
| | ラジオ：約 11 時間 |

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
●乾電池使用時の再生可能時間は、使用状況、乾電池の種類により前後します。目安としてご利用ください。
●この商品は、日本国内用に設計･販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

# 故障かな?と思ったら

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 電源が入らない | ●電源コードのプラグが充分に挿入されていない。<br>●電池が消耗している。 | ●電源コードプラグを奥まで挿し込む。<br>●新しい乾電池と全て交換する。 |
| ディスクを読み込まない | ●ディスクが入っていない。<br>●ディスクが裏返しに装着されている。<br>●ディスクの読み込みに十数秒かかる。<br>●ディスクが汚れていたり、傷がついている。 | ●ディスクを入れる。<br>●ディスクをレーベルの印刷がある側を上にしてしっかり装着する。<br>●ディスクの汚れを取る、又は、ディスクを交換する。 |
| CDの音がとぶ | ●ディスクに大きな傷やそりがある。<br>●振動する場所に設置している。 | ●ディスクをとりかえる。<br>●振動のない場所に設置する。 |
| 雑音が多く聞きづらい | ●電源雑音の影響を受けている。<br>●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている。 | ●電源プラグの刃向きを差し換える。<br>●本機を雑音源から離す。<br>●テレビを離す。<br>●アンテナを調節する。 |
| ラジオは鳴るのにCDが動かない | ●乾電池を使用している。 | ●乾電池が消耗している可能性があるので、新しいものと交換する。 |



# 保証とアフターサービス

## 保証書

●この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証書欄の『お買い上げ年月日』と『販売店印』の記入をお受けください。

●保証期間はお買い上げの日から1年間です。詳細は保証書をご覧ください。

### 補修用性能部品の保有期間

●本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。

●補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。

●消耗部品のご注文などについては販売店にご相談ください。

### 保証期間中は

お買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理致します。

保証期間中であっても有料となる場合がございます。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

## アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店かエンプレイスサポートセンターにお問合わせください。

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。
※アフターサービスのため、指定された住所に商品をお送り頂く場合、送料は保証期間内外を問わず、お客様のご負担となります。

**エンプレイスサポートセンター**

ナビダイヤル 0570-038-415

| 受付時間 | メールでのお問い合わせ |
|---|---|
| 月～金　午前10時～午後5時まで<br>（土・日・祝祭日・年末年始を除く） | E-mail ： support@qriom.com<br>ホームページ：キュリオム 検索 |

### 個人情報のお取り扱いについて

株式会社山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを受託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

| 愛情点検 | 長年ご使用の機器の点検をぜひ | | |
|---|---|---|---|
| | このような症状はありませんか | ●電源コードが傷んでいる<br>●煙が出る<br>●変な臭いがする<br>●その他の異常や故障がある | 故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検･修理をご相談ください。 |

※本機を廃棄される場合は、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

# FAQ

## ディスプレイ表示例

| | | |
|---|---|---|
| | CD の場合<br>●ディスクが入っていない。<br>●ディスクが読み込めない。<br><br>SD カードの場合<br>●SDカードが入っていない。<br>●SDカード内に再生可能なデータがない。<br><br>USB メモリーの場合<br>●USBメモリーが入っていない。<br>●USBメモリー内に再生可能なデータがない。 | <br>●ディスクを入れる。<br>●読み込み可能なディスクを入れる。<br>●読み込み側がラベル面になっていないか確認する。<br><br><br>●SDカードを挿入する。<br>●SDカードに再生可能なMP3形式のファイルを入れる。<br><br><br>●USBメモリーを挿入する。<br>●USBメモリーに再生可能なMP3形式のファイルを入れる。 |
| | SD カードの場合<br>●フォーマットが正しくない。<br><br>USB メモリーの場合<br>●フォーマットが正しくない。 | <br>●パソコンを使って、FAT形式でフォーマットする。<br><br><br>●パソコンを使って、FAT形式でフォーマットする。 |

※本機ではフォーマットすることができません。パソコンでFAT形式でフォーマットをしてください。なお、フォーマットをするとデータは全て消去されますので、大事なデータはパソコンでバックアップを行ってください。
パソコンを使ったフォーマット方法は、それぞれのパソコンの取扱説明書およびOSに従ってください。



MEMO